



非認知能力を育む

校長 齊藤 浩雄

アメリカのある経済学者が、子供が成長し社会で成功し幸せに暮らすには、学力などの認知能力だけでなく非認知能力を伸ばすことが必要であると言っています。非認知能力とは、記憶力、思考力、判断力、推理力など知能検査で測定可能な認知能力に対して、意欲や計画を実行する力、人とうまく付き合う力などのことを言います。そして、高い非認知能力があると子供は学校で高い成果をあげ、幸せを感じながら生活できるとのこと。また、非認知能力が認知能力の発達を促進できる可能性も高く、非認知能力は認知能力を支える役割も担っているそうです。非認知能力は子供の将来のために育むべきものであると同時に、子供時代に高い達成感や幸福感をもたらしてくれる重要な力であるとのこと。

10月初旬、低学年遠足がありました。2年生と1年生がグループになってオリエンテーリングや公園での遊びを楽しみました。子供たちの様子を見てみると、「どんぐり拾いをしたい」「鬼ごっこがいい」「ローラー滑り台がしたい」など、ばらばらの意見を言う1年生に、2年生が「ローラー滑り台をしてから、鬼ごっこをして、最後にどんぐり拾いをしよう。」と上手に話している姿がありました。その後、子供たちは笑顔で滑り台に走って行きました。また、4年生は総合的な学習の時間に、岩井移動教室の体験を基に岩井について調べたことを来年岩井に行く3年生に発表していました。発表を早く終えたグループでは、「岩井のことで心配なことはない？」など、4年生が自分の経験をふまえて3年生に話しかけていました。発表内容もかわり方も4年生の3年生を思う気持ちが伝わってきました。

10月中旬には、5年生の岩井自然体験教室がありました。豊かな自然に触れる活動や学校生活では味わうことができない様々な体験もできました。ハイキングやオリエンテーリングでも、遅れがちな友達に「大丈夫」と気遣う声や「頑張れ」「もう少し」と励まし合う声が聞こえてきました。様々な活動、宿舎での生活の中では、時には相手にいやな思いをさせたり傷つけたりするようなことも起こります。ですが、そういう姿がほとんどなく子供たちは3日間を仲間がいることの喜びや素晴らしさを感じながら過ごしていました。困っている友達がいたら自然に声をかけ、手伝ってあげるなど互いに助け合う姿をたくさん見ることができました。

子供たちは、こうした行事や様々な教育活動の中で、他者とかわる力や人を大事にすること、互いに認め合い協力することの大切さを学んでいきます。これからも様々な体験や学びの中で、子供たちの非認知能力を育ていけるよう教育活動を進めてまいります。

11月は運動会が予定されています。子供たちは今、運動会に向けて一生懸命練習に取り組んでいます。9日の運動会、ご家族、地域の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日	曜	時程	朝会	学校行事等
1	金	普	児集	校門挨拶(6) ふれあい月間 開校記念日 東小読書月間②
2	土			王子校中説明会①
3	日			文化の日
4	月			振替休日
5	火	水曜	読外	安全指導 水曜時程(6以外)運動会係打合せ
6	水	水曜	右	全校練習(8:35~)
7	木	普	新聞	
8	金	4H	読書	4時間授業(6以外) 運動会リハAM 前日準備(13:20)
9	土	普	無	運動会
10	日			運動会予備日
11	月			振替休業日
12	火	水曜	読外	運動会延期日
13	水	4H	基外	4時間授業 避難訓練(休み時間・掃除)
14	木	短	無	短縮時程 スクールコンサート(10:30-11:30)
15	金	4H	無	特別時程 就学時健診(13:15受付開始)
16	土			
17	日			校庭開放
18	月	普	全朝	全校朝会 音楽会特別時間割始 ばくばく週間始 委員会⑦
19	火	水曜	読外	水曜時程 小・中学生主張体験発表会 個人面談①
20	水	水曜	基外	水曜時程 個人面談②
21	木	水曜	新聞	水曜時程 個人面談③
22	金	4H	音朝	音楽朝会 4時間授業 ばくばく週間終 各学年学納金引き落とし②
23	土			勤労感謝の日
24	日			校庭開放
25	月	普	基外	クラブ⑥
26	火	水曜	読外	個人面談④
27	水	水曜	基外	個人面談⑤
28	木	短	無	短縮時程
29	金	水曜	児集	水曜時程 児童集会(集会委) 個人面談⑥
30	土			

今月の生活目標

すす しこと  
「進んで仕事をしよう」

